



Self-Evaluation Form for English Island

高校 年 (男・女)

最も当てはまる欄に△もしくは○をしてください。

※この評価表は参加前と参加後、同じ用紙を使用してください。参加前→黒△ 参加後→赤○

到達目標	主な評価基準			
	十分に到達できている 4	到達できている 3	一部は到達できている 2	到達に相当の努力を要する 1
1) 英語で積極的にコミュニケーションをとる姿勢がある	英語で積極的にコミュニケーションを取る姿勢があり、伝わるまで粘り強く伝える工夫ができる	英語で積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。発言を促されなくても、自ら発言することができる。	促されれば発言できるが、自らすすんで発言することは難しい	促されても発言が難しい
2) 英語で自分の意見を理由とともに言うことができる	英語で自分の意見を理由とともに言う。また他人の意見を聞きそれに対して英語で反論・賛成できる。	英語で自分の意見を理由とともに言える	自分の意見は言えるが、理由までは十分にのべることはできない	自分の意見を述べることができない
3) 抗原抗体反応について英語で理解する	抗原抗体反応についての基本的知識を英語で理解し、英語で簡単に説明できる	抗原抗体反応について英語で理解できている	抗原抗体反応について英語で部分的に理解できている	抗原抗体反応について英語で理解していない
4) 新型コロナウイルス感染症について、科学的根拠に基づいた議論が英語できる	新型コロナウイルス感染症について、科学的根拠に基づいた議論が英語で十分にできる	新型コロナウイルス感染症について、科学的根拠に基づいた議論ができる。	新型コロナウイルス感染症について、科学的根拠に基づいた議論が科学的根拠は十分でないができる	新型コロナウイルス感染症について、科学的根拠に基づいた議論ができない
5) 新型コロナウイルス感染症後の新しい生活様式について、科学的根拠に基づき実現可能な提案が英語できる	新型コロナウイルス感染症後の新しい生活様式について、科学的根拠に基づき実現可能な提案が英語で十分できる	新型コロナウイルス感染症後の新しい生活様式について、科学的根拠に基づき現実可能な提案ができる	新型コロナウイルス感染症後の新しい生活様式について、科学的根拠や実現可能性が低いまでも提案が英語できる	新型コロナウイルス感染症後の新しい生活様式について、科学的根拠に基づき実現可能な提案が英語できない

コメント欄 : _____